

春採湖レポート 2024

令和8年2月

春採湖調査会

目 次

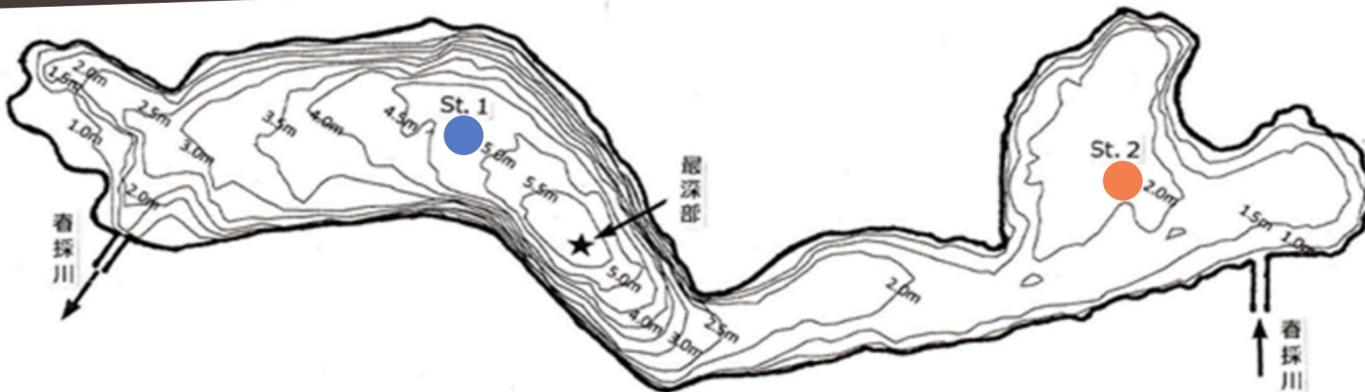
1 水質部門	
春採湖の水質	角田 富男 1 ページ
2 動物部門	
ヒブナ・フナの産卵調査	針生 勤 2 ページ
ウチダザリガニ捕獲調査	蛭田 眞一、照井 滋晴・ 3 ページ
春採湖で暮らす野鳥たち	釧路市立博物館 4 ページ
3 植物部門	
春採湖湖畔の植物	釧路市立博物館 6 ページ
水生植物の動態	神田 房行 11 ページ
春採湖ダイジェスト	12 ページ

春採湖の水質

過去の春採湖

- 水質汚濁の指標とされるCODは、1990年代初頭までは15mg/ℓ前後と高く、1991年には国の湖沼水質全国ワーストランキングで1位となる
- その後、周辺の下水道の整備や湖尻の春採川の潮止め施設(旧堰)の設置などによって徐々に水質は向上し、2010年代以降は全国のワースト10位前後まで改善

2024年の水質



春採湖の水質調査

● St.1と ● St.2で
4月～11月の期間、
月1回(計8回)実施

用語解説

シオデー
COD(化学的酸素要求量)とは？

- 水中の有機物を酸化剤で化学的に分解する時に必要な酸素の量
- 湖沼・海域の汚濁を測る指標で、COD値が高いほど汚濁度が高い

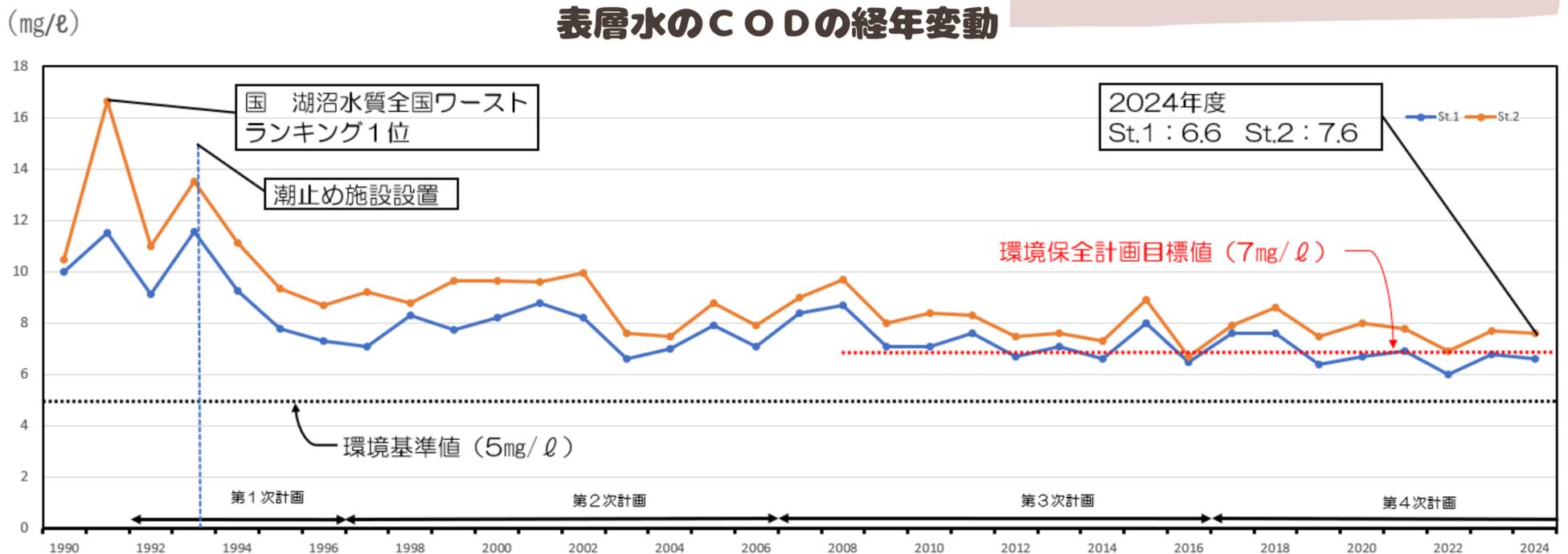
75%値とは？

- 測定値を低い方から順に並べたとき75%目に該当する値
- 2024年度は調査回数が8回だったため、75%値は6番目の数値を用いている

表層水の調査地点(St.1とSt.2)の平均値(pHは最小～最大)
(単位はmg/ℓ、ただしpHは単位なし)

	COD <small>化学的酸素要求量</small>	COD 75%値	DO <small>溶存酸素</small>	SS <small>懸濁物</small>	T-N <small>総窒素の全窒素</small>	T-P <small>全リン</small>	Cl- <small>塩化物イオン</small>	pH
2023	7.3	7.8	11	12	0.62	0.051	572	8.3～8.8
2024	7.1	7.5	11	10	0.56	0.047	1437	8.3～8.8
環境基準値 湖沼B類型		5以下	5以上	15以下	1以下	0.1以下		6.5～8.5

表層水のCODの経年変動



2024年の結果

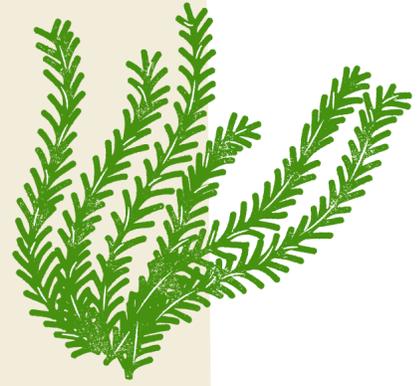
- 水質汚濁の主要指標であるCOD(化学的酸素要求量)は観測2地点の平均が7.1mg/ℓと昨年を下回り、経年変化の範囲内にも収まっている
- COD75%は観測2地点の平均が7.5mg/ℓで、環境基準値(5mg/ℓ以下)を達成していないものの、春採湖環境保全計画目標値(7mg/ℓ以下)には近く、水質の維持ができています
- 他の主要項目では例年と比較し塩分(塩化物イオン)が昨年の約2.5倍となった

ヒブナ・フナの産卵調査

調査概要

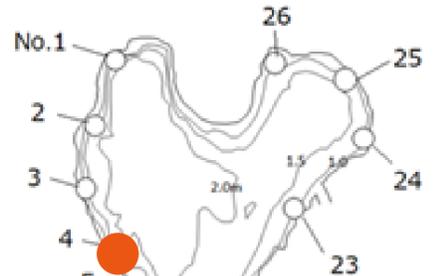
調査①

内容：湖岸一帯におけるヒブナ・フナの産卵状況の調査
 方法：湖岸一帯の26地点（右図参照）を調査地点として設定
 6月21日の1日間で各調査地点の水草等を採集して、
 卵が産み付けられているかを目視で確認



調査②

内容：定点におけるヒブナ・フナの産卵状況の調査
 方法：マツモ・リュウノヒゲモ群落が存在する湖岸2箇所にて定点を設定
 6月12日～7月5日の間に2～4日間隔で産卵状況を確認（計5回）
 （定点観測地点 No.10、No.15 ●）



春採湖で捕獲されたヒブナ

調査結果

調査①

- ・ No.4, 16の地点で産卵を確認（産卵確認地点 ●）
- ・ No.4、16ともにマツモに産卵を確認
- ・ 調査日の水温は22～25℃と、産卵の適正水温(18～20℃)を超えており、こうした水温環境も影響してか、産卵量は僅かであった



マツモに付着した卵

調査②

- ・ No.10では6月12日、17日に産卵を確認（今回、No.10で確認された産卵量は僅かであった）
- ・ No.15では6月12日、17日、30日に産卵を確認（12日、17日は多量の卵を確認したが、30日は僅かであった）



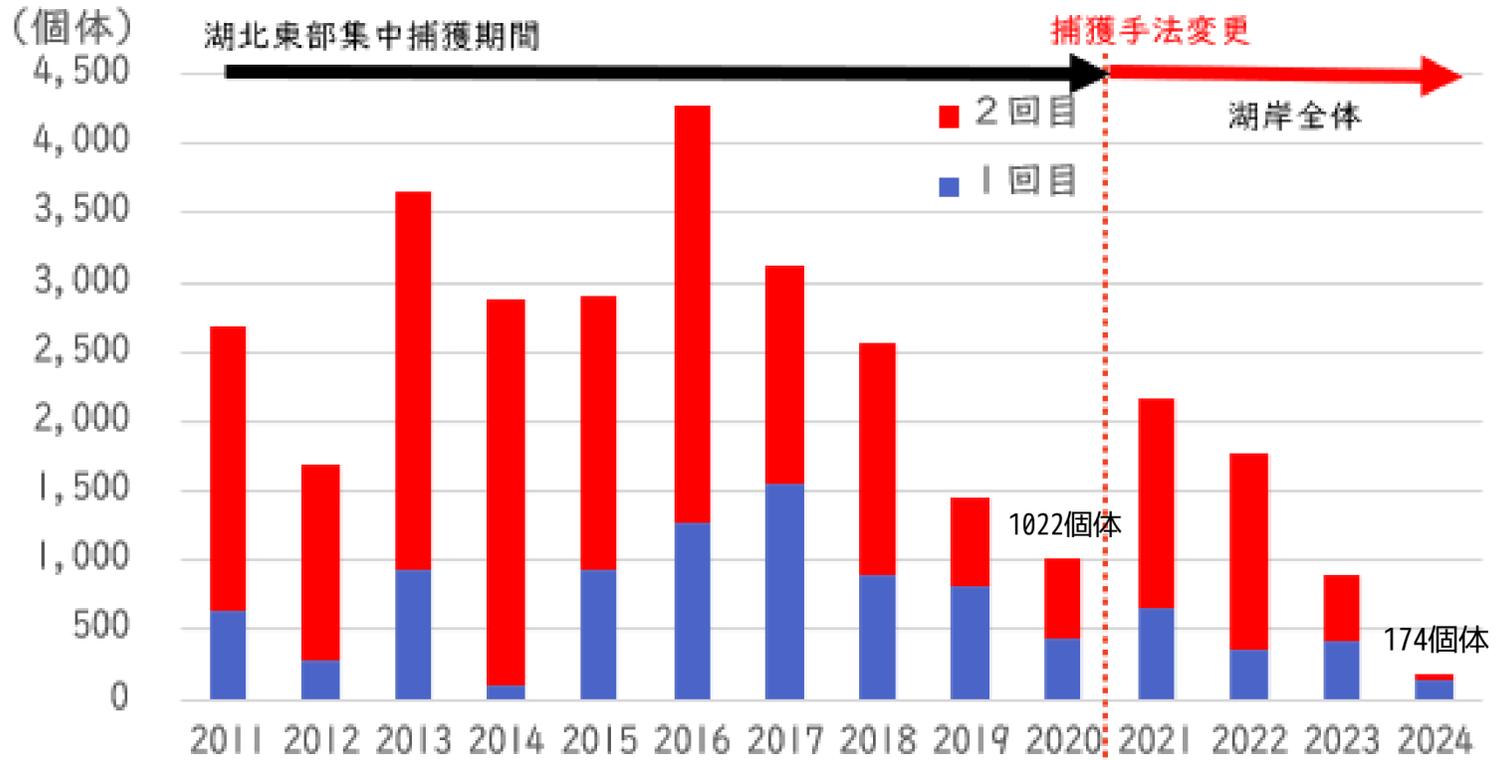
産卵調査（水草に産卵があるかを目視で確認）

産卵の傾向

- ・ 調査の結果から2024年の産卵期間は6月中旬～6月下旬であったと考えられる
- ・ マツモは7地点（No.1, 4, 15, 16, 23, 25, 26）で群落が確認でき、リュウノヒゲモは3地点（No.9, 10, 13）で群落が確認できた
- ・ ヒブナ・フナの産卵環境は、2023年に引き続き相当程度回復していると考えられる

ウチダザリガニ捕獲調査

年間総捕獲数の推移



近年の傾向

- 2011年～2020年まで捕獲数減少
- 大型個体の捕獲割合の減少
- 湖内全域で捕獲されている
- 年々水草の生育範囲が拡大

調査方法の変更

2020（令和2）年度まで

- 1回目：湖岸全域 5日間
- 2回目：北東部集中捕獲 10日間

2021（令和3）年度から

- 湖岸全域 5日間x2回

2024年の捕獲状況

1回目

期 間：6月24日～6月28日

捕獲数：145個体

（雄65個体、雌80個体）

2回目

期 間：9月23日～9月27日

捕獲数：29個体

（雄15個体、雌14個体）

結果

2024年度総捕獲数量は、

174個体

（雄80個体、雌94個体）

2020年度に比べて約0.17倍の捕獲数
(2020年度：1022個体)

- 最少総捕獲個体数であった2023年度（891個体）の1/5にあたる
- 捕獲個体の平均サイズは91.6mmで、2023年度（101.2mm）よりも小型の個体が多く捕獲されており、この値は2007年度以降で最も小さい値であった
- 水草の生育は昨年と同様に確認され、一部では範囲が拡大していた

考察

上記のことから、捕獲手法の変更と継続的な捕獲作業により、大型の個体が除去された状態を維持しているなどの効果が現れ、湖内の生息状況に大きな変化が生じている可能性が考えられる

春採湖で暮らす野鳥たち

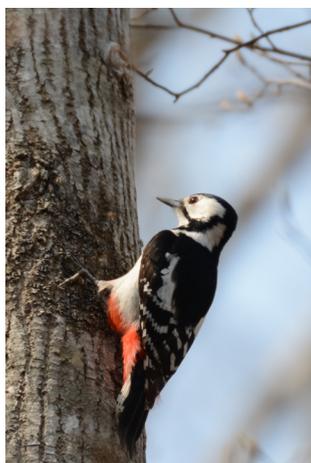
春採湖では約 140 種類もの野鳥が確認されています。小さな湖にも関わらず、この数は日本で確認されている野鳥の種数の5分の1にもなります。その理由としては、林、水辺、ヨシ原など、春採湖には多様な環境が備わっているからだと考えられます。ここでは湖畔で暮らす野鳥を紹介します。



シマエナガ (左)
1 年を通して観察できます。林の中を動き回りながら食べ物を探しています。



アオジ (右)
繁殖のため渡来する渡り鳥です。オスは黄色い色が特徴的です。



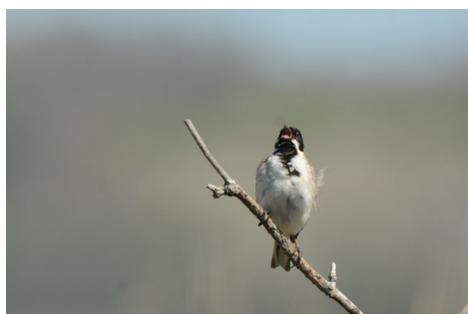
アカゲラ (上)
年中観察されます。木に穴を開け、その中で子育てをします。



マガモ (左)
湖畔で繁殖する水鳥の 1 種です。ヒナはふ化後からすぐに自分で食べ物を探することができます。



カワアイサ (右)
春と秋に群れで観察されます。集団で水の中へ潜り、魚を狙っています。



オオジュリン (左)
大きな口を目一杯開けて、自分のなわばり誇示やメスにアピールしています。



ミヤマカケス (右)
秋によく観察され、ミズナラの実を木の隙間へ隠す行動が見られます。



ヒドリガモ (左)
秋に渡来し、湖が結氷するまで滞在。水草を食べながら過ごします。

協力：釧路市立博物館

日本野鳥の会釧路支部と釧路市立博物館では、毎年「春採湖畔探鳥会」と銘打って4月から11月までの毎月1回、春採湖畔の探鳥会を開催しています。2024年度は2024年4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、9月22日、10月20日(11月は雨天のため中止)に実施し、次のような野鳥を観察することができました。 ※名前の順番は「日本鳥類目録改訂第8版」に基づいています。

番号	種名	移動習性	4月21日	5月19日	6月16日	7月21日	8月18日	9月22日	10月20日	春採湖での生息状況
1	ヨシガモ	夏鳥	○							ときどき飛来
2	ヒドリガモ	冬鳥						○	○	よく飛来
3	マガモ	留鳥			○	○	○	○	○	繁殖
4	キンクロハジロ	冬鳥	○							ときどき飛来
5	カワアイサ	夏鳥	○							よく飛来
6	アマツバメ	夏鳥				○	○			ときどき飛来
7	ツツドリ	夏鳥			○					ときどき飛来
8	カッコウ	夏鳥			○					繁殖の可能性あり
9	キジバト	夏鳥						○	○	ときどき飛来
10	オオバン	夏鳥							○	ときどき飛来
11	ハジロカイツブリ	冬鳥						○		ときどき飛来
12	ユリカモメ	旅鳥							○	ときどき飛来
13	ウミネコ	夏鳥			○			○		よく飛来
14	カモメ	旅鳥	○							ときどき飛来
15	オオセグロカモメ	留鳥	○	○	○	○	○	○		よく飛来
16	カワウ	夏鳥	○							ときどき飛来
17	アオサギ	夏鳥		○	○	○	○	○	○	よく飛来
18	トビ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	繁殖
19	オジロワシ	留鳥						○		ときどき飛来
20	ノスリ	留鳥						○		ときどき飛来
21	アリスイ	夏鳥					○			繁殖の可能性あり
22	コゲラ	留鳥	○	○						繁殖
23	アカゲラ	留鳥		○	○	○		○	○	繁殖
24	ハシボソガラス	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	繁殖
25	ハシブトガラス	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	繁殖
26	ヒガラ	留鳥		○	○				○	繁殖
27	ヤマガラ	留鳥				○				繁殖の可能性あり
28	ハシブトガラ	留鳥	○	○	○		○	○	○	繁殖
29	シジュウカラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	繁殖
30	ヒヨドリ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	繁殖
31	ショウドウツバメ	夏鳥			○	○				ときどき飛来
32	ウグイス	夏鳥		○						繁殖の可能性あり
33	エナガ	留鳥		○					○	繁殖
34	センダイムシクイ	夏鳥		○	○	○		○		繁殖
35	エゾムシクイ	夏鳥		○						繁殖
36	コヨシキリ	夏鳥		○	○	○	○	○		繁殖
37	エゾセンニュウ	夏鳥			○					繁殖
38	シマセンニュウ	夏鳥			○	○				繁殖
39	メジロ	夏鳥		○						繁殖
40	ゴジュウカラ	留鳥	○			○			○	繁殖
41	コムクドリ	夏鳥		○	○					繁殖
42	ノビタキ	夏鳥		○	○	○	○	○		繁殖
43	ニューナイスズメ	夏鳥								繁殖
44	スズメ	留鳥			○	○	○	○		繁殖
45	ハクセキレイ	夏鳥	○					○	○	繁殖
46	カワラヒワ	夏鳥	○	○	○	○	○	○		繁殖
47	アオジ	夏鳥	○	○	○	○	○	○		繁殖
48	オオジュリン	夏鳥	○		○	○	○	○		繁殖
	観察種類数	-	18	21	25	21	15	24	17	-

春採湖畔の植物

春採湖畔には広い緑地が広がり、釧路の市街地からも近く、植物を楽しむ人もたくさん訪れます。自然度は決して高く、豊かというわけではありませんが、観察できる植物は、野山、湿地、樹林の植物、寒地性の植物、外来植物と多種多様です。春採湖畔で見られる植物の一部を紹介します。

春～初夏



ウラホロイチゲ



エゾエンゴサク



オオバナノエンレイソウ



タチツボスミレ



エゾオオヤマハコベ



ヤマブキショウマ

夏～秋



オオハナウド



シウリザクラ



ハシドイ (釧路市の木)



ツリガネニンジン



オオウバユリ



キツリフネ

協力：釧路市立博物館

植物部門

春採湖畔 草花ウォッチング

釧路市立博物館では毎年5月から9月までの第3土曜日に植物観察会「草花ウォッチング」を行っています。

下記の表は観察会のコースで確認した野草園と遊歩道沿いの被子植物の主なリストです。

このリストにはイネ科、カヤツリグサ科、イグサ科は収録していません。また、個体数が減少し観察が困難なものも入れていません。

2024年度の開催日は5月18日、6月15日、7月20日、8月17日、9月21日です。

No.	植物名	科名(APG)	5月	6月	7月	8月	9月	備考
1	アキカラマツ	キンポウゲ			つ〇	み	み	
2	アキタブキ	キク	み					
3	アキノウナギツカミ	タデ			つ〇	つ〇	〇み	ウナギツカミ
4	アズマイチゲ	キンポウゲ	み					
5	アメリカセンダングサ	キク						外来
6	アヤメ	アヤメ		〇	み	み		野草園
7	アラゲハンゴンソウ	キク			〇	〇	〇み	外来
8	イケマ	キョウチクトウ			つ〇	〇み	み	エングララー ガガイモ科
9	イタヤカエデ	ムクロジ	〇	み	み			木 エングララー カエデ科
10	イチゲフウロ	フウロソウ			〇	〇み		
11	イヌタデ	タデ			〇	〇	み	
12	イヌツルウメモドキ	ニシキギ	つ	つ	み	み	み	つる性の木
13	イワアカバナ	アカバナ					み	
14	ウツボグサ	シソ			〇み	み	み	
15	ウマノミツバ	セリ			〇み	み		
16	エゾイチゴ(ウラジロ)	バラ		つ	み			木:エゾキイチゴ
17	エゾイヌゴマ	シソ						
18	エゾイラクサ	イラクサ		つ	〇み	〇み	み	
19	エゾエンゴサク	ケシ	〇み					
20	エゾオオサクラソウ	サクラソウ	〇					
21	エゾオオヤマハコベ	ナデシコ		つ〇	〇み	〇み	〇み	
22	エゾカワラナデシコ	ナデシコ			〇	〇	〇み	
23	エゾクサイチゴ	バラ	〇					
24	エゾゴマナ	キク						
25	エゾスカシユリ	ユリ		〇				
26	エゾスグリ	スグリ	〇	み	み	み	み	木 エングララー:ユキノシタ科
27	エゾタチカタバミ	カタバミ			〇	〇	〇み	
28	エゾタツナミソウ	シソ						
29	エゾトリカブト	キンポウゲ			つ	つ〇	〇み	
30	エゾナミキ	シソ						
31	エゾニワトコ	ガマズミ(レンブクソウ)	つ	み	み	み		木 エングララー:スイカズラ科
32	エゾノウワミズザクラ	バラ	つ〇	み				木
33	エゾノカワラマツバ	アカネ			〇	み		
34	エゾノギシギシ	タデ		つ	〇み	み	み	
35	エゾノキリンソウ	ベンケイソウ						
36	エゾクロクモソウ	ユキノシタ					〇	
37	エゾノシシウド	セリ	つ	つ〇	み	み		
38	エゾノシモツケソウ	バラ		つ	み			
39	エゾノタチツボスミレ	スミレ						
40	エゾノヨロイグサ	セリ			〇み	み		
41	エゾノレンリソウ	マメ			つ〇み	〇み		
42	エゾハタザオ	アブラナ			つ〇み	〇み	み	
43	エゾヒメアマナ	ユリ						
44	エゾヒョウタンボク	スイカズラ	つ〇	み	み	み		木
45	エゾフウロ	フウロソウ			〇	〇み	〇み	
46	エゾミズタマソウ	アカバナ			つ〇	〇み		
47	エゾミソハギ	ミソハギ			つ	〇		
48	エゾヤマアザミ	キク			つ	つ〇	〇み	
49	エゾヤマザクラ	バラ	み	み	み			木/標準和名オオヤマザクラ
50	エゾヤマハギ	マメ			つ	つ〇	み	木
51	エンコウソウ	キンポウゲ						移入
52	オオアマドコロ	クサスギカズラ	つ	〇み	み			別:キジカクシ科、エングララー:ユリ科
53	オオアワダチソウ	キク				つ〇	〇み	外来
54	オオイタドリ	タデ			つ〇	つ〇	み	
55	オオウバユリ	ユリ		つ	〇み	み	み	

No.	植物名	科名(APG)	5月	6月	7月	8月	9月	備考
56	オオカサモチ	セリ		○				
57	オオダイコンソウ	バラ	つ○		○み	み		
58	オオツリバナ	ニシキギ	つ	○み	み	み	み	木
59	オオバコ	オオバコ			つ○	○み	み	
60	オオバセンキュウ	セリ				つ○	○み	
61	オオハナウド	セリ		つ○	○み	み		
62	オオバナノエンレイソウ	シュロソウ	○	み	み			エングラール:ユリ科
63	オオバナヤエムグラ	アカネ			○	み		
64	オオヤマフスマ	ナデシコ		○	○			
65	オオヨモギ	キク			つ	つ○	み	
66	オトギリソウ	オトギリソウ						
67	オトコヨモギ	キク					み	
68	オドリコソウ	シソ	○	○み				
69	オミノゲシ	キク			つ○	○み		外来
70	オニユリ	ユリ			つ	つ○		外来
71	オミナエシ	スイカズラ			○	○み		野草園 エングラール:オミナエシ科
72	カセンソウ	キク			つ○	○み	み	
73	カタバミ	カタバミ						
74	カラフトダイコンソウ	バラ						
75	カラフトホソバハコベ	ナデシコ			○			
76	カラマツ	マツ	み	み	み	み	み	木・植栽
77	キクムグラ	アカネ		○み	み			
78	キジムシロ	バラ	○					
79	キタコブシ	モクレン	み	み				木
80	キタノコギリソウ	キク			○	○	○み	
81	キタミフクジュソウ	キンポウゲ	み					
82	キツリフネ	ツリフネソウ		つ	つ○み	○み	○み	
83	キバナノアマナ	ユリ	み					
84	キレハイヌガラシ	アブラナ			○み	○み		外来
85	キンミスヒキ	バラ			つ○み	○み	み	
86	クサノオウ	ケシ	つ○	○み	○み	○み	○み	
87	クサフジ	マメ			○み	○み	○み	
88	クサレダマ	サクラソウ			つ			
89	クマイチゴ	バラ		○	み			木
90	クロユリ	ユリ	つ○	○				
91	ゲンノショウコ	フウロソウ			○	○	○み	
92	コウゾリナ	キク			つ○	○み		
93	コウライテンナンショウ	サトイモ	つ	○	み	み	み	
94	コウリンタンポポ	キク		○				外来
95	コケイラン	ラン	つ	○	み		み	
96	ゴボウ	キク			つ○	○み	み	外来
97	コンロンソウ	アブラナ	つ	○み	み			
98	サラシナショウマ	キンポウゲ		つ	つ	つ○	○	
99	サルナシ	マタタビ		つ	み	み	み	つる性の木
100	サワシバ	カバノキ	○	み	み	み	み	木
101	シウリザクラ	バラ	つ	○	み	み		木
102	シコタンキンポウゲ	キンポウゲ		○				
103	シャク	セリ	つ○	○み	み			
104	シラヤマギク	キク						
105	シロイヌナズナ	アブラナ	○み	○み	み			
106	シロツメクサ	マメ		○	○	○み	○み	
107	シロネ	シソ			○	○	み	
108	スイレン	スイレン		○	○	○	○み	外来・植栽
109	ススキ	イネ				○み	み	
110	スズラン	クサスギカズラ	つ					野草園 別:キジカクシ科、エングラール:ユリ科
111	セイヨウタンポポ	キク	○み	○み	○み	○み	○み	外来
112	セイヨウノコギリソウ	キク		つ	○	○	○み	外来

No.	植物名	科名(APG)	5月	6月	7月	8月	9月	備考
113	センダイハギ	マメ	つ	○	み	み		
114	ゼンテイカ(エゾカンゾウ)	ワスレグサ	つ○	○	み			別:ススキノキ科、エングラ-:ユリ科
115	センボンヤリ	キク	○					
116	タチツボスミレ	スミレ	○	み				
117	タニソバ	タデ				○	み	
118	チシマアザミ類	キク		つ	○み	み		
119	チシマオドリコソウ	シソ						外来?
120	チシマザクラ	バラ	み	み	み			木・植栽
121	チシマネコノメソウ	ユキノシタ	○					
122	チドリケマン	ケシ			つ○	○み	○み	
123	チョウセンゴミシ	マツブサ	つ	○	み			つる性の木
124	ツボスミレ	スミレ	○	み				
125	ツマトリソウ	サクラソウ		○				
126	ツメクサ	ナデシコ			○			
127	ツリガネニンジン	キキョウ			つ	つ○	み	
128	ツリバナ	ニシキギ	つ	つ○	み	み	み	木
129	ツルキジムシロ	バラ	○	○み				
130	ツルネコノメソウ	ユキノシタ	○					
131	ドクゼリ	セリ			○	み	み	
132	ドロノキ	ヤナギ		み	み			木
133	ナガバギシギシ	タデ		つ	○み	み	み	外来
134	ナガボノシロワレモコウ	バラ			つ	つ○	○み	ナガボノワレモコウ
135	ナギナタコウジュ	シソ					つ○	
136	ナズナ	アブラナ	○み	○み	○み			
137	ナナカマド	バラ	つ	○み	み	み	み	木
138	ナミキソウ	シソ						
139	ニリンソウ	キンポウゲ	○					
140	ネジバナ	ラン			つ○	○み		
141	ネムロブシダマ	スイカズラ	つ	み	み	み	み	木
142	ノハナショウブ	アヤメ						野草園
143	ノハラムラサキ	ムラサキ	○	○み	○み	○み		外来
144	ノブキ	キク				○み	み	
145	ノボロギク	キク	つ○み	○み	○み	○み	○み	外来
146	ノミノフスマ	ナデシコ		○				
147	ノリウツギ	アジサイ		つ	○	み	み	木 エングラ-:ユキノシタ科
148	パイケイソウ	シュロソウ	つ	つ○	み			エングラ-:ユリ科
149	ハコベ	ナデシコ	○	○み	○	○		
150	ハシドイ	モクセイ	つ	つ	○み	み	み	木
151	ハッカ	シソ			つ	○	○み	
152	パッコヤナギ	ヤナギ	み	み				木
153	ハナタデ	タデ			○	○	○み	
154	ハマエンドウ	マメ	つ			み		
155	ハマナス	バラ		つ○	○み	○み	○み	木
156	ハマハタザオ	アブラナ		○み		み		
157	ハルザキヤマガラシ	アブラナ	つ	○み				外来
158	ハンゴンソウ	キク			つ○	つ○	○み	
159	ヒオウギアヤメ	アヤメ		○	み	み		
160	ヒトフサニワゼキショウ	アヤメ	○	○み				外来
161	ヒナマツヨイグサ	アカバナ		つ	○み	○み	○み	外来
162	ヒメイズイ	クサスギカズラ						別:キジカクシ科、エングラ-:ユリ科
163	ヒメジョオン	キク		つ	○	○み	○み	外来
164	ヒメスイバ	タデ		○	○み	み		外来
165	ヒメムカシヨモギ	キク			つ○	○み	○み	外来
166	ヒヨドリバナ	キク			つ○	つ○	○み	
167	ヒロハクサフジ	マメ				○		
168	ヒロハツリバナ	ニシキギ	つ☆					ルート上個体は枯死
169	ヒロハヒルガオ	ヒルガオ			○	つ○み	○み	つる性
170	フタバハギ	マメ				つ○		
171	フッキソウ	ツゲ	○み	み	み・つ	つ	み・つ○	

No.	植物名	科名(APG)	5月	6月	7月	8月	9月	備考
172	フデリンドウ	リンドウ	○					
173	フランスギク	キク	つ	つ	○	○み	○み	外来
174	ヘラオオバコ	オオバコ		つ○	○	○み	み	外来
175	ヘラバヒメジョオン	キク			○	○み	○み	外来
176	ホザキシモツケ	バラ			つ○	○み	み	木
177	ホソバノキリンソウ	ベンケイソウ						
178	マイヅルソウ	クサスギカズラ	つ○	○み	み			別:キジカクシ科、エングラマー:ユリ科
179	マユミ	ニシキギ	つ	つ	み	み	み	木
180	マルバトウキ	セリ		つ○	○み	み		
181	ミズナラ	ブナ	つ○	○み	み	み	み	木
182	ミズバショウ	サトイモ	み	み	み			移入?
183	ミゾソバ	タデ				つ○	○み	
184	ミツバ	セリ			○	み	み	
185	ミツバフウロ	フウロソウ				○み	○み	
186	ミツモトソウ	バラ			つ○	○み	み	
187	ミミコウモリ	キク			つ○	つ		
188	ミミナグサ	ナデシコ	○	○	○み	み		
189	ミヤマアキノキリンソウ	キク					○	
190	ミヤマザクラ	バラ	つ	み	み	み		木
191	ミヤマニガウリ	ウリ			○み	○み	○み	つる性
192	ミヤママタタビ	マタタビ	つ	つ○	み	み	み	つる性の木
193	ムカゴイラクサ	イラクサ			つ	○	○み	
194	ムシトリナデシコ	ナデシコ			○	○	○	外来
195	ムラサキケマン	ケシ	つ○	○み				
196	ムラサキツメクサ	マメ		○	○	○み	○み	外来
197	メマツヨイグサ	アカバナ			○み	○み	○み	外来
198	ヤナギタンポポ	キク			つ○	○み	○み	
199	ヤナギトラノオ	サクラソウ		○				
200	ヤブジラミ	セリ			つ○	み	み	
201	ヤブマメ	マメ				○	み	
202	ヤマハタザオ	アブラナ						
203	ヤマハハコ	キク				つ○	○み	
204	ヤマブキショウマ	バラ	つ	つ○	み	み	み	
205	ヤマブドウ	ブドウ	つ	つ	み	み	み	つる性の木
206	ユウゼンギク	キク					つ○	外来
207	ヨブスマソウ	キク			つ○	み	み	
208	レンブクソウ	ガマズミ(レンブクソウ)	○					エングラマー:レンブクソウ科
209	ワサビ	アブラナ	○み					

「○」は開花、「つ」はつぼみ、「み」は果実を確認したものです。☆はコース以外で確認した植物です。

水生植物の動態

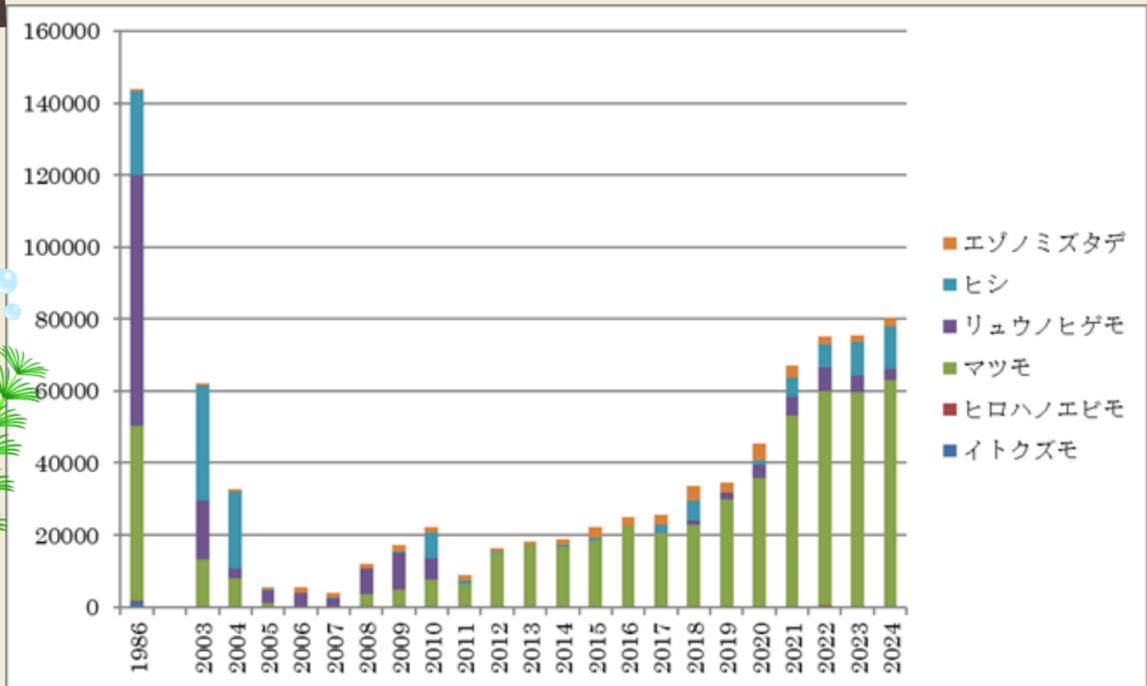
水草の分布面積の推移

2024年水草調査について

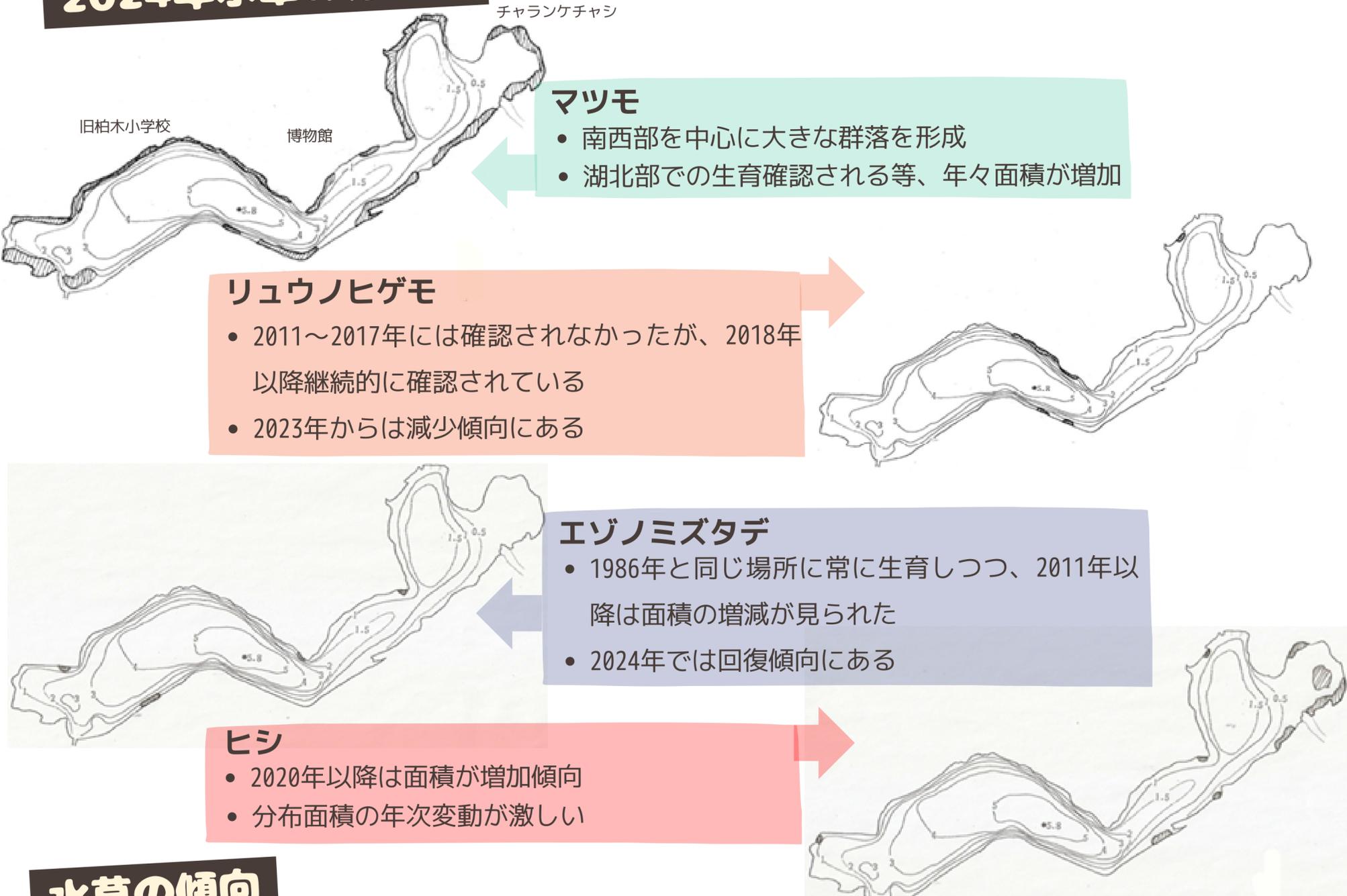
調査日：2024年7月31日

確認した水草：4種

- マツモ
- リュウノヒゲモ
- エゾノミズタデ
- ヒシ



2024年水草の分布図



チャランケチャシ

旧柏木小学校

博物館

マツモ

- 南西部を中心に大きな群落を形成
- 湖北部での生育確認される等、年々面積が増加

リュウノヒゲモ

- 2011～2017年には確認されなかったが、2018年以降継続的に確認されている
- 2023年からは減少傾向にある

エゾノミズタデ

- 1986年と同じ場所に常に生育しつつ、2011年以降は面積の増減が見られた
- 2024年では回復傾向にある

ヒシ

- 2020年以降は面積が増加傾向
- 分布面積の年次変動が激しい

水草の傾向

- 一時期水草の面積が激減していたが、2011年以降水草全体の面積は増加
- 2021～2024年度の分布面積は、再調査を開始した2003年度の分布面積を超えた
- マツモの面積増加が大きく、ヒブナの産卵や水鳥などのえさ場にとっては大変良い傾向

春採湖 ダイジェスト

春採湖に関する事で、情報がありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

◆令和6年度に行われた春採湖に関するイベント等を紹介します◆

月	主な行事 []内は実施主体等	特記事項
4月	20日:春採湖ネイチャーセンター開館 21日:春採湖畔探鳥会 [市立博物館] (11月まで毎月1回開催。11月は雨天中止。)	6日:春採湖全面解氷
5月	18日:春採湖畔草花ウォッチング [市立博物館](9月まで毎月1回開催)	3日:サクラ開花※
6月	8日:しらべてみよう春採湖の昆虫 [市立博物館](9月まで開催) 14日:塩分躍層調査 [市環境保全課](3月まで毎月1回調査) 21日:ヒブナ生息実態調査[市立博物館] 24日:春採湖ウチダザリガニ捕獲事業 [市環境保全課](28日まで実施) 25日:イオン釧路昭和店2回楽器屋前 「春採湖なんでもパネル展」[市環境保全課](7月2日まで実施)	
7月	13日:春採湖汽水のいきもの観察会[市立博物館]	
8月	17日:『春採湖ウチダザリガニ捕獲体験教室』[市環境保全課]	
9月	23日:春採湖ウチダザリガニ捕獲事業 [市環境保全課](27日まで実施)	
10月	31日:春採湖ネイチャーセンター閉館	19日:カエデ紅葉※
11月		
12月	14日:釧路市中央図書館7階 「春採湖なんでもパネル展」[市環境保全課](24日まで実施)	14日:春採湖全面結氷
1月	7日:釧路市役所1階 「春採湖なんでもパネル展」[市環境保全課](17日まで実施)	
2月		
3月		

※ 札幌管区气象台ホームページより



春採湖ウチダザリガニ捕獲体験教室

発行／春採湖調査会

<お問い合わせ先>

春採湖調査会(庶務)

釧路市市民環境部

環境保全課自然保護係

TEL:0154-31-4594

FAX:0154-23-4651

E-mail:ka-shizenhogo@city.kushiro.lg.jp